



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月8日

上場会社名 株式会社アーレスティ 上場取引所 東
 コード番号 5852 URL https://www.ahresty.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 新
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 辻 鶴男 TEL 03-6369-8660
 四半期報告書提出予定日 2021年2月9日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	64,506	△29.9	△2,710	—	△2,146	—	△3,059	—
2020年3月期第3四半期	92,019	△16.8	512	△73.5	209	△89.4	106	—

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 △2,939百万円 (—%) 2020年3月期第3四半期 △2,018百万円 (—%)

(参考) EBITDA 2021年3月期第3四半期 6,769百万円 (△39.9%) 2020年3月期第3四半期 11,258百万円 (△21.2%)

(※) EBITDA=営業利益+減価償却費

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△119.63	—
2020年3月期第3四半期	4.17	4.12

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	126,991	54,481	42.8
2020年3月期	123,054	57,364	46.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 54,316百万円 2020年3月期 57,177百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	8.00	—	0.00	8.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	92,300	△23.5	△2,600	—	△2,200	—	△2,900	—	△113.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	26,076,717株	2020年3月期	26,076,717株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	409,984株	2020年3月期	602,289株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	25,577,955株	2020年3月期3Q	25,661,728株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) 追加情報	8
(6) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、世界的な新型コロナウイルス感染症拡大の影響を色濃く受け、経済活動の停滞に伴う内需の減少や輸出鈍化により大きく悪化することとなりました。第1四半期を底に回復基調にはありますが、新型コロナウイルス感染症の再拡大や半導体不足による自動車生産への影響など、先行きについては依然不透明な状況が続いております。海外においても、米中貿易摩擦の長期化などによる世界経済への影響や中国、インド経済の成長鈍化がみられた中で、新型コロナウイルス感染症拡大により各国経済活動が強く制限され、当社の主要顧客である自動車業界を取り巻く環境も大きく変化し自動車販売量は大きく減速することとなりました。

このような急激な市場環境の変化に対して、当社グループでは各国・地域の規制に応じ新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じながら販売量の大幅な減少に合わせた休業の実施、操業の一部停止や勤務体制の見直し等の生産体制の調整、社内の遊休設備の活用等による設備投資の抑制、出張の原則禁止やWeb会議の活用等による経費削減等、緊急対策に取り組んでまいりましたが、急激かつ大幅な販売量の減少の影響は大きく国内・海外ともに営業損益は当初計画を上回るものの営業損失の計上を余儀なくされました。

自動車販売の回復ペースは各国及び顧客ごとに差異は見られるものの、経済活動の再開が進んだことを受け、当社グループの生産状況は第1四半期を底に回復基調にあります。第3四半期の3ヶ月間では日本・北米・中国での販売量は前期に近い水準まで回復してまいりました。また1921中期経営計画に基づく施策展開の加速により、原価低減・生産性改善活動を推進し、収益体質の改善が進んだことで、営業損益も黒字に転換しております。

当社グループでは、引き続き事業環境の不透明感が残る中、これまで2019年度より取り組んできた1921中期経営計画に基づく施策展開を更に加速し、原価低減・生産性改善による収益性のさらなる改善を進め、収益力の回復に努めてまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高64,506百万円（前年同四半期比29.9%減）、営業損失2,710百万円（前年同四半期は512百万円の営業利益）、経常損失2,146百万円（前年同四半期は209百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失3,059百万円（前年同四半期は106百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① ダイカスト事業 日本

日本自動車市場では、今年度上半期は当社主要顧客である自動車メーカーを含む多くの顧客で、新型コロナウイルス感染症拡大による操業停止や生産調整が断続的に実施され、当社もこの影響を受け、受注量が大幅に減少しました。現在は受注量を取り戻しつつあり回復基調にあるものの、アルミ地金市況の下落も影響し、売上高は31,964百万円（前年同四半期比28.8%減）となりました。収益面においては、受注量減少の影響等によりセグメント損失2,338百万円（前年同四半期はセグメント損失342百万円）となりました。

② ダイカスト事業 北米

北米自動車市場では、新型コロナウイルス感染症拡大による主要顧客の操業停止が、当社受注量に大きく影響を及ぼしました。

米国工場では、米国での新型コロナウイルス感染拡大が続く中で感染症拡大防止による主要顧客のシャットダウンが相次ぎ、当社も一時生産調整を余儀なくされましたが、現在は販売量を取り戻しつつあり回復基調にあります。

12月決算期のメキシコ工場においては、主要顧客である自動車メーカーの販売が低迷していたところ、感染防止策として政府によるロックダウンが行われた影響で、当社も操業停止を余儀なくされるなど、受注量が大幅に減少しました。

以上のことに加えて、アルミ地金市況も下落したことから、売上高は14,872百万円（前年同四半期比38.0%減）となりました。収益面においては、受注量減少の影響等によりセグメント利益126百万円（前年同四半期比76.4%減）となりました。

③ ダイカスト事業 アジア

12月決算期の中国工場では、第1四半期（1月～3月）における新型コロナウイルス感染症拡大による一部の都市の封鎖や、各地での外出規制の実施、また、主要顧客である自動車メーカーの操業停止の影響により、自動車販売台数、生産台数共に大幅に減少しましたが、第1四半期での大きな落ち込みから徐々に回復の兆しが見え始め、現在は前期水準の売上高まで回復いたしました。

一方、インド工場においては、新型コロナウイルス感染症拡大により、感染防止策として政府によるインド全土でのロックダウンが行われた影響で、当社も操業停止を余儀なくされるなど、受注量が大幅に減少しました。

以上のことにより、売上高は13,341百万円（前年同四半期比26.1%減）となりました。収益面においては、受注量減少の影響等によりセグメント損失827百万円（前年同四半期はセグメント損失98百万円）となりました。

④ アルミニウム事業

アルミニウム事業においては、新型コロナウイルス感染症拡大が大きく影響し、10月～12月においては回復基調であったものの累計販売重量が前年同期と比較して16.3%減少したことで、売上高は2,412百万円（前年同四半期比21.7%減）となりました。収益面においては、売上高の減少による影響等により、セグメント損失5百万円（前年同四半期はセグメント利益135百万円）となりました。

⑤ 完成品事業

完成品事業においては、主要販売先である半導体関連企業のクリーンルーム物件や通信会社のデータセンター向け物件等の受注が減少したことにより、売上高1,914百万円（前年同四半期比2.6%減）となりました。収益面においては、販売管理費の削減等により、セグメント利益は275百万円（前年同四半期比59.8%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は126,991百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,937百万円の増加となりました。流動資産は41,391百万円で、前連結会計年度末に比べ6,144百万円の増加となり、その主な要因は、たな卸資産が853百万円減少した一方、現金及び預金が6,341百万円、売上債権が750百万円増加したことによるものです。固定資産は85,599百万円で、前連結会計年度末に比べ2,206百万円の減少となり、その主な要因は、投資有価証券が1,380百万円増加した一方、有形固定資産が3,406百万円減少したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は72,510百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,821百万円の増加となりました。流動負債は47,204百万円で、前連結会計年度末に比べ3,813百万円の増加となり、その主な要因は、仕入債務が2,260百万円、設備債務が1,880百万円減少した一方、短期借入金が8,380百万円増加したことによるものです。固定負債は25,306百万円で、前連結会計年度末に比べ3,007百万円の増加となり、その主な要因は、長期借入金が増加したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は54,481百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,883百万円の減少となりました。その主な要因は、利益剰余金が3,114百万円減少したことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末46.5%から42.8%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2020年8月6日に公表いたしました通期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2021年2月8日）公表の「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,167	10,508
受取手形及び売掛金	17,922	18,300
電子記録債権	2,398	2,770
商品及び製品	3,115	2,749
仕掛品	3,603	3,418
原材料及び貯蔵品	2,810	2,507
その他	1,385	1,278
貸倒引当金	△154	△142
流動資産合計	35,247	41,391
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	14,867	14,261
機械装置及び運搬具 (純額)	38,944	37,373
土地	5,622	5,598
建設仮勘定	12,384	11,461
その他 (純額)	8,573	8,292
有形固定資産合計	80,392	76,986
無形固定資産	2,032	1,870
投資その他の資産		
投資有価証券	2,568	3,949
その他	2,834	2,814
貸倒引当金	△21	△20
投資その他の資産合計	5,380	6,742
固定資産合計	87,806	85,599
資産合計	123,054	126,991
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,284	8,472
電子記録債務	5,994	4,546
短期借入金	10,273	18,654
1年内返済予定の長期借入金	7,750	7,254
未払法人税等	304	269
賞与引当金	1,848	864
製品保証引当金	46	39
その他	7,889	7,103
流動負債合計	43,390	47,204
固定負債		
長期借入金	15,672	18,476
長期未払金	327	300
退職給付に係る負債	2,709	2,676
その他	3,588	3,853
固定負債合計	22,298	25,306
負債合計	65,689	72,510

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,964	6,964
資本剰余金	10,206	10,206
利益剰余金	38,806	35,692
自己株式	△412	△278
株主資本合計	55,564	52,584
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	926	1,868
為替換算調整勘定	1,047	181
退職給付に係る調整累計額	△360	△318
その他の包括利益累計額合計	1,612	1,732
新株予約権	187	164
純資産合計	57,364	54,481
負債純資産合計	123,054	126,991

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	92,019	64,506
売上原価	83,101	60,540
売上総利益	8,918	3,965
販売費及び一般管理費	8,406	6,676
営業利益又は営業損失 (△)	512	△2,710
営業外収益		
受取利息	86	50
受取配当金	101	73
スクラップ売却益	77	52
雇用調整助成金	—	834
その他	61	78
営業外収益合計	327	1,088
営業外費用		
支払利息	359	346
為替差損	189	120
その他	81	57
営業外費用合計	630	523
経常利益又は経常損失 (△)	209	△2,146
特別利益		
固定資産売却益	22	9
投資有価証券売却益	54	—
補助金収入	159	91
退職給付制度改定益	155	—
特別利益合計	391	100
特別損失		
固定資産除売却損	126	151
退職給付制度改定損	75	—
新型コロナウイルス感染症関連損失	—	590
特別損失合計	201	741
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	399	△2,787
法人税、住民税及び事業税	424	118
法人税等調整額	△132	154
法人税等合計	292	272
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	106	△3,059
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失 (△)	106	△3,059

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	106	△3,059
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△89	942
為替換算調整勘定	△2,059	△865
退職給付に係る調整額	23	42
その他の包括利益合計	△2,125	120
四半期包括利益	△2,018	△2,939
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,018	△2,939
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

(自己株式の処分)

当社は、2020年7月22日開催の取締役会において株式報酬としての自己株式の処分を決議し、当第3四半期連結累計期間に自己株式の処分を実施いたしました。この処分により自己株式は107百万円(156,541株)減少しました。

(5) 追加情報

(連結納税制度の適用)

当社及び国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間より連結納税制度を適用しております。

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書に記載した、新型コロナウイルス感染症の影響の収束時期等を含む仮定及び会計上の見積りについて、重要な変更はありません。

(6) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					合計
	ダイカスト事業			アルミニウム事業	完成品事業	
	日本	北米	アジア			
売上高						
外部顧客への売上高	44,921	23,998	18,051	3,081	1,966	92,019
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,409	11	1,101	2,443	1	5,967
計	47,330	24,010	19,153	5,524	1,967	97,987
セグメント利益又は損失(△)	△342	536	△98	135	172	403

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	403
セグメント間取引消去	109
四半期連結損益計算書の営業利益	512

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					合計
	ダイカスト事業			アルミニウム事業	完成品事業	
	日本	北米	アジア			
売上高						
外部顧客への売上高	31,964	14,872	13,341	2,412	1,914	64,506
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,530	0	588	1,483	2	3,605
計	33,494	14,873	13,929	3,895	1,917	68,111
セグメント利益又は損失(△)	△2,338	126	△827	△5	275	△2,768

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△2,768
セグメント間取引消去	58
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△2,710

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。